

樹村房「博物館情報学シリーズ」第8巻*

『ミュージアム・ライブラリとミュージアム・アーカイブズ』刊行記念ワークショップ

ミュージアム・ライブラリとミュージアム・アーカイブズの地平 ——その過去・現在・未来を見とおす

日時: 2023年4月22日(土) 14:00-17:00(予定)

開催方法: オンライン(Zoom) 参加費: 無料

参加申込みフォーム: <https://forms.gle/GRgcqghNkba1Wp7w5> 【4月17日(月)〆切】



主催: アート・ドキュメンテーション学会(JADS)美術館図書室SIG(ミュージアムライブラリーの会)

後援: 樹村房 協力: 図書館総合展

昭和27(1952)年、戦後、初の国立美術館として、京橋に開館した東京国立近代美術館(1-2章)。同年、一步先んじて同じ京橋の地にブリヂストン美術館として開館し、2020年、全面リニューアル、名称も改めて開館したアーツオン美術館(4章)。30年の長き準備室の時代をくぐり抜けて2022年の春、まさに本書を用意していた昨年、満を持して開館した大阪中之島美術館(3章)。そして、明治5(1872)年、近代日本の文教施設のほぼすべての濫觴とも言える湯島聖堂大成殿の文部省博物館による博覧会から、昨年、数えて150周年を迎えた東京国立博物館(5章)。

本書は、国立美術館、公立美術館、私立美術館、国立博物館のそれぞれに個性と語るに十分な歴史を有する4館のミュージアムの中のライブラリとアーカイブズについて、現場に軸足を置きつつ語られた報告である。(本書「まえがき」より)

この度のワークショップは、本書の刊行を機にあらためて「ミュージアム・ライブラリとミュージアム・アーカイブズの地平」をその過去と現在に立ち返り、さらに未来への展望をともに語るころみです。

14:00-14:10 開催挨拶

楯石 もも子/JADS美術館図書室SIG(ミュージアムライブラリーの会)代表・東京都江戸東京博物館

14:10-14:20 監修者挨拶

水嶋 英治/長崎歴史文化博物館長 本シリーズ監修者

14:20-14:30 企画趣旨説明

水谷 長志/跡見学園女子大学 本巻編著者

14:30-15:15 鼎談1:ミュージアム・ライブラリとミュージアム・アーカイブズそしてドキュメンテーションを語る

長名 大地/東京国立近代美術館情報資料室 第2章担当

松山ひとみ/認証アーキビスト,元・大阪中之島美術館 第3章担当

黒澤 美子/国立西洋美術館学芸課情報資料室 第4章担当

15:15-16:00 鼎談2:東京国立博物館におけるMLAの情報連携を語る

阿見 雄之/東京国立博物館情報管理室 第5章担当 4節執筆

小野 美香/元・東京国立博物館百五十年史編纂室 第5章3節執筆

山崎 美和/東京国立博物館情報資料室 第5章2節執筆

16:00-16:20 対談:ミュージアム・ライブラリの原理と課題

水谷/第1章担当

楯石/美術館図書室SIG

16:20-16:30 休憩

16:30-17:00 全体討議 上記登壇者とZoom参加者による / 司会:楯石